

# 自己点検・自己評価報告書

2024年4月1日現在

学校法人西田学園 アルファ医療福祉専門学校

2024年4月1日作成

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
学校における職業教育の特色は何か	3	設置学科ごとに現場の実務経験を積んだ専任教員を中心に各業界との連携を重視し、理論と実践のバランスのとれた教育を実施。これからの将来を担う人材となれるように、現場で活躍されている講師を揃え、適切な現場実習の機会を提供している。
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	3	近年目まぐるしく変化している社会情勢に対し、多様な価値観を享受できる人材を計画的に描いている。
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3	公式HPに教育理念等を掲載している。また、入学前募集資料にて学生・保護者へも周知している。各学科ごとに保護者会を開催し直接的にも周知している。
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3	定期的に教育課程編成委員会を開催し、関連業界より実践的な意見を得て、教育課程・授業計画（シラバス）等を策定をしている。

#### ①現状

教育理念・3つのポリシーをもとに、将来構想は定められているが、人材育成像・特色・将来構想等の周知は十分ではない。

#### ②今後の改善策

今後の将来構想については年々変化する社会ニーズに即しているか外部委員の意見を取り入れて引き続き改善は図っていく。人材育成像等の周知については、学内含め現在の多様なソーシャルメディアを活用し周知の機会を増やしていく。

(2) 学校運営

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1	
	目的等に沿った運営方針を定めているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	法人本部が策定し、経営会議を経て、理事会に事業計画を提出している。
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	規則等に準じて、学校運営方針に沿って、具体的な計画を定め実行している。
人事、給与に関する規程等は整備しているか	4	教職員の就業規則・給与規定を定めている。
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	教務運営では教務会議にて、財務等は理事会が最高意思決定機関として位置づけられて各機関において整備している。
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	養成校指定規則を遵守した上で、学校評価委員会・教育課程編成委員会や地域社会へのコンプライアンス体制が整備されている。
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3	公式HPにおいて教育活動等の情報公開をしている。
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	教務システム、LMS等で業務効率を進め、業務の効率化を図っている。

①課題

各情報をシステムに集約しつつあるが、複数情報が一元化されていない。

②今後の改善策

専門学校の中での情報一元化に対して、最適な状態を検討し、機能を活用できる人材育成および業務の効率化を図っていく。

(3) 教育活動

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1	
	教育理念等に沿った教育課程の編成方針・実施方針が策定されているか	4
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	授業概要（シラバス）等を用いて、各科目の到達目標や授業内容を明確にしている。また各授業の冒頭にオリエンテーションで授業内容の全体像を明確にしている。
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	各養成規則をもとに社会ニーズに沿った人材育成を行うことで体系的なカリキュラムに編成している。
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか	3	定期的に各学科ごとに教育課程編成委員会を設置し、キャリア教育や職業教育のあり方について外部委員の意見を取り入れている。
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。	3	主に学外実習を通じて、実践的な職業教育が体系的に位置付けられている。
授業評価の実施・評価体制はあるか	4	年に2回、半期ごとに授業評価アンケートを実施している。授業計画通りに実施がされているか確認の上、アンケート結果のフィードバックを行っている。
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	各学科ごとに教育課程編成委員会等により、外部委員の評価を受けている。
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	成績評価、単位認定、進級・卒業判定の基準は学則に基づき判定している。各年度ごとにオリエンテーション時に学生便覧を配布の上、説明をしている。
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	目標としている資格取得に向けて、ガイダンス等で指導・説明をしている。必要な履修科目については学生便覧等に記載し、学生に周知している。
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	養成施設指定規則に則り、資格要件を備えた教員を確保している。
関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3	現場で活躍されている施設長や保育園の園長、特定の専攻分野を研究されている講師を採用している。
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	専門性を向上させるため、関連業界・団体の研修に参加している。また、校内でも教員の指導力向上を目的とした研修を実施している。
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	職員への研修を毎年実施している。今後も人材の多様化が進むことも考え、アンケート等での研修内容の精査・実施が必要であるとする。

①課題

教職員の能力開発、資質向上のため外部機関からの研修を実施しているが、年々変化する社会情勢を鑑みると強化するポイントを絞り、さらなる質の向上を図る必要がある。

②今後の改善策

従来の特長領域の知識・技術の習得や指導方法に加え、ICT活用に対する研修の実施体制の整備も必要と考える。

(4) 学修成果

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1	
	就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4	各学科ごとに目標を定め、国家試験対策を強化している。受験学年では特に近況の学修状況や模擬試験等の得点率を学科・教務課で情報共有し今後の学修に活かせるように連携している。
退学率の低減が図られているか	3	学習支援課が中心となり、過年度の状況分析をした上で各学科ごとに対応強化を図った。昨年度よりも大幅に低減し効果を上げている。
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	就職ガイダンスや実習指導の授業において、卒業生を招待し現在の状況を把握している。業界で活躍している情報を在校生に周知し、学習意欲の向上に役立てている。
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2	卒業後のキャリア形成への効果の把握は、令和6年度より卒業生が学校に戻れる特定の日をつくり、卒業生同士や卒業生と在校生等との交流を図る方向性。具体的なリカレント教育を示し、教育活動の改善に繋げたい。

①課題

卒業生の社会的な活躍および学校の教育活動への反映に課題を感じる。卒業後も繋がりを継続できる仕組みづくりについて新たな施策を行っていく。

②今後の改善策

卒業生へのリレーション強化の仕組みづくりの一環として、ホームカミングデー（つながりの日）を全学科で実施していく。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
	進路・就職に関する支援体制を整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4	学生相談については、クラス担任・教務課が窓口として対応している。相談内容によってスクールカウンセラーや学習支援課と連携している。
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	公的な奨学金の利用について案内をするなどの支援を行っている。学校独自の奨学金の整備は今後検討の余地がある。
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	年1回の健康診断を実施している。担任が学生の健康管理について、定期的に状況を確認し指導を行っている。
課外活動に対する支援体制は整備されているか	2	課外活動には会議室等の場所の提供は行っているが、金銭的な助成は行っていない。
学生の生活環境への支援は行われているか	2	遠方からの入学者が少ないため、学生寮等の設置はしていない。
保護者と適切に連携しているか	3	入学時に保護者会を実施し、当校の教育方針や今後の学びの概要・スケジュールを伝えている。学校生活が始まった後についても、学生の心理面や学校生活への不安等の問題に対し、担任が学生一人一人の状況に応じて面談を行っており、必要に応じて保護者を交えて三者面談を行っている。
卒業生への支援体制はあるか	3	卒業生への支援として、卒後も受けられる研修を実施しており、有資格者としての技術向上を支援している。 資格が取れなかった方への国家試験対策講座の設置も案内している。
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	社会人のニーズを踏まえた、専門職人材として多様な学び・教育環境を整備している。
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3	近隣高校や重点高校でのガイダンス授業に加え、ニーズに応じて定期的に出張授業を実施している。

①課題

卒業生への支援について、研修の実施、有資格者への技術向上を支援しているが、各領域のキャリアラダーを示せているとは言いがたく課題がある。

②今後の改善策

学内資源の整理および活用を明確化する。今後新たな外部との教育交流の施策を実施し、卒業生および在校生にも周知していく。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	学外において十分な実習施設を確保している。多様な学びを深めていくために更なる拡充を進め教育体制を整備していく。
防災に対する体制は整備されているか	3	防災設備の点検を業者立ち合いのもと実施している。緊急時に備え教職員が見た際に活用ができる防災マニュアルを整備・更新している。

①課題

実習施設の拡充には一定の効果がある。新たな教育環境の整備・連携が出来るように施策を検討したい。

②今後の改善策

学内資源を整理し、学外への教育環境の交流や意見交換から今後の施策を模索していく。

(7) 学生の募集と受入れ

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
	学生募集活動は適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育効果は適切に伝えられているか	4	入学検討者が入学後のイメージが浮かぶように学校案内パンフレット・募集要項の内容は毎年見直し、カリキュラム・特徴をより明確に周知している。学校説明会等において、教育方針、特色、入試形態、カリキュラム、学費や就職状況等を詳しく説明し適正に行っている。
学納金は妥当なものとなっているか	4	学納金は、各業界の学納金水準は把握しており、同業界の他校と比較して、平均的な学納金の設定となっている。

①課題

学生募集については、社会的ニーズに即して引き続き「今」の状況を適切に分析し、募集方法およびカリキュラム・特徴を適切に周知していく。

②今後の改善策

他校でも独自の取り組みを行っているため、学生目線に立ち「選ばれる学校」として当校のカリキュラムや特徴を適切に伝えていく。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	適切な予算管理を行うため、予算作成に際して、理事長の査定を実施している。
財務について会計監査が適正に行われているか	4	会計監査を受け、理事会、評議員会、監事による事業報告と決算書の承認を得ている。
財務情報公開の体制整備はできているか	4	学校のホームページで一般公開している。

①課題

安定した入学者の確保と退学者の抑止を図る。経費全般について、適切な支出なのか見直しを図る。

②今後の改善策

引き続き入学者の安定的な確保、各部門ごとの予算・経費の見直しを図り財政基盤の安定を目指していく。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	個人情報保護規程を整備し、個人情報の保護に関する法律および関係する法令を遵守し、適正な取り扱いに努めている。
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	関係する諸規程や委員会を定め、文部科学省のガイドライン項目に準拠して実施している。
自己評価結果を公開しているか	3	学校のホームページ上で一般公開している。

①課題

適切に公式HPに教育活動及び情報公開を掲載していく。

②今後の改善策

学生・保護者・外部機関からの視点に立ち、今後も再検討を図る。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1	
	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2
学生のボランティア活動を奨励し、支援しているか	2	ボランティアは奨励しているが、支援する体制は整備されていない。
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	2	東京都の職業訓練生の受託をしているが、地域に対する公開講座は開催をしていない。

①課題

学校としてボランティア参加に対する評価と支援する仕組みづくりには課題がある。

②今後の改善策

学校としてボランティア参加に対する評価と支援する仕組みづくりについて、関係機関や対象施設と協議を図り、具体的な施策に落とし込む。